

第1章 地域活性化など地域課題の解決に資する環境施策

【背景】

近年、日常生活や通常の事業活動に伴い生ずる二酸化炭素やごみの削減が喫緊の課題となっていることから、県民・事業者による環境保全の行動を促す施策を展開してきましたが、こうした取組は、コストの増加や負担感といったマイナスイメージで捉えられがちであるため、継続・拡大していないという課題があります。

また、里山里海の荒廃や地域コミュニティの衰退などの地域課題の中には、里山の荒廃が森林の環境浄化機能の低下を招くなど、環境問題と関連するものが存在しています。

このため、マイナスイメージで捉えられがちである環境の取組に、地域課題の解決にも役立つという効果を付加した施策を展開することで、多くの県民がプラスイメージを持つ、持続的な取組とすることを目指します。

【施策展開の基本的な考え方】

里山里海の荒廃、地域コミュニティの衰退、地域経済の疲弊などの地域課題の解決にも資する環境施策を展開します。

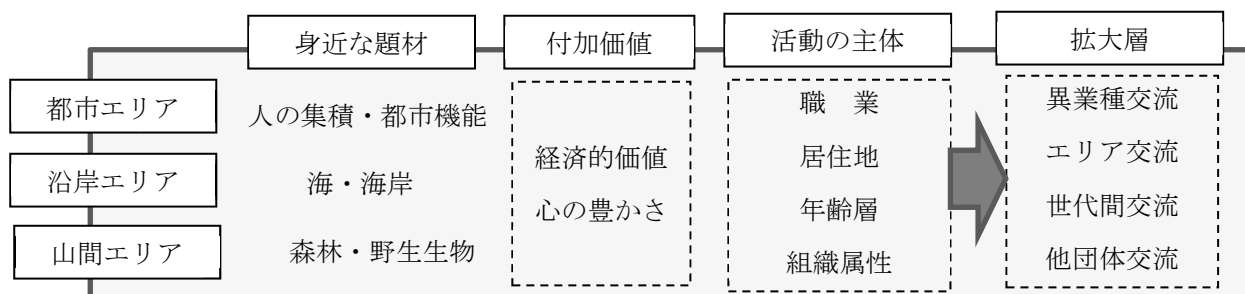
[基本的な視点]

- ・環境施策に経済的価値や心の豊かさなどの付加価値を持たせる。
- ・県民の自主的な活動を促進する。
- ・地域特性を生かした小さな成功事例をつくり出し、活動を継続させて、面的に広めていく。

【自主的な環境活動の展開イメージ】

県民の自主的な環境活動を促進するための新たな動機づけとして、経済的な価値や心の豊かさなどの付加価値を持たせた施策を展開します。

県民が、気軽に環境活動に取り組むことができるよう、エリアに応じた身近な題材を選定し、活動の主体を明確にした施策に取り組みながら、活動主体の広域的な交流や若者世代の参画、世代間の交流等を促進し、順次、活動の拡大を図ります。



【施策の内容】

1 「エコの力でひろしまを元気に」具体化推進事業

(1) 里山バイオマス利用促進事業 [環境政策課]

里山を手入れすることにより搬出される未利用材を地域の温浴施設等で熱利用する等、地域が一体となって、里山の未利用材をバイオマス燃料として活用する活動を県内各地へ拡大します。

【平成29年度実績】5市町に対して、機運醸成や安全技術などに関する専門家派遣等を行い、実行組織の立ち上げ支援を実施。

【平成30年度内容】平成29年度までに着手した5市町に継続的な支援を行うとともに、新たに3市町を対象に実行組織立上げに向けた支援を実施。

(2) 廃棄物エネルギー回収促進事業 [循環型社会課]

市町のごみ焼却施設での廃棄物エネルギーの回収・利用促進は、処理コストの低減、電気・余熱の施設外供給による地域貢献、施設を活用した啓発による住民のごみ処理への理解促進等に資するものであることから、市町におけるエネルギー回収型の処理施設の整備を促進します。

【平成29年度実績】廃棄物処理施設の更新計画を検討している3団体に対して、技術的提案等のエネルギー利用策を幅広く提示し、エネルギーの利用を促進することができた。

【平成30年度内容】引き続き廃棄物処理施設の更新計画を検討中の3団体に対して技術的支援を実施。

(3) 海ごみ対策推進事業 [環境保全課]

海岸清掃に楽しめる工夫を取り入れることにより、多くの県民の環境保全活動への参加を促進するとともに、海岸をきれいにすることで地域の魅力や価値を向上させ、地域の活性化を図ります。

【平成29年度実績】平成28年度に宮島で行った海岸一斉清掃のモデル事業の成果を沿岸地域へ波及させ、海岸清掃活動の自主的・継続的な取組を促進。また、国の補助事業を活用し、8市町が行う回収・処理及び発生抑制対策等の取組を支援し、海ごみ対策を総合的・効果的に推進。

【平成30年度内容】海岸清掃活動の自主的・継続的な取組を促進するほか、9市町が行う回収・処理及び発生抑制対策等の取組に対して、国の補助制度を活用して支援を実施。また、発生源対策の基礎資料とするため、県内の海岸における漂着物の量と組成についての実態調査を実施。

1 里山：市街地等で従来から林産物の栽培、肥料、炭の生産等に利用されてきた森林。近年身近な自然として評価されているが、所有者による維持管理が困難な状況となっている場合も多い。